

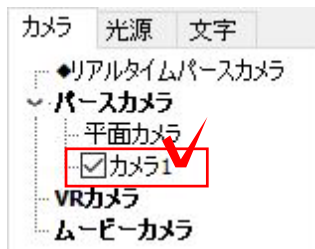
# イメージパース作成方法

イメージパースをCAD平面図上へ貼りつける方法です。

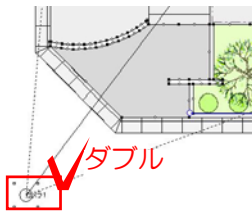


リアルタイムパースでテクスチャ(素材の模様)・効果設定を変更して、イメージパースを作成します。

## 方法1



## 方法2



## 作業手順

1 カメラを選択します。

方法1：リアルタイムパース画面左上でパースをとりたいカメラを選択します。

方法2：平面でパースをとりたいカメラをダブルクリックします。

2 テクスチャ・効果設定を調整します。



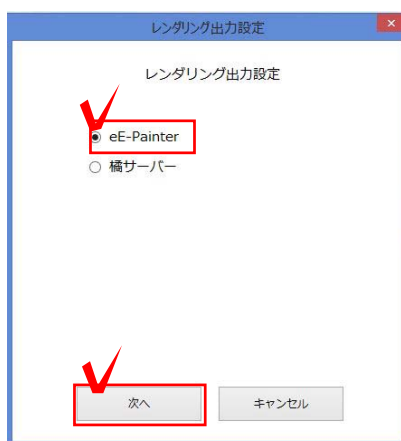
3 画面右側の「再描画」をクリックします。

効果設定が反映されて表示されます。



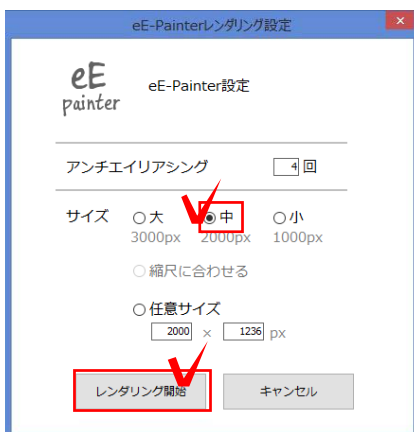


4 画面右側の「レンダリング」をクリックします。




レンダリング出力設定の画面が表示されます。

5 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。



6 「中」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

 画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

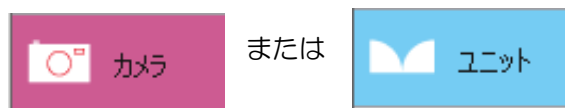
通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。



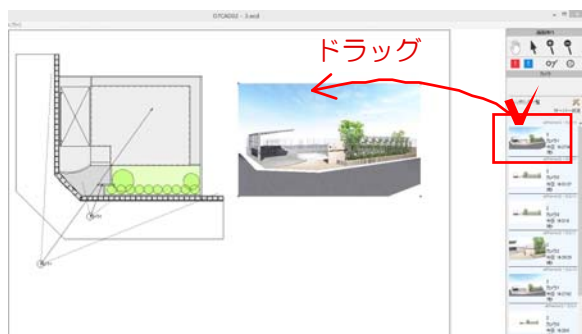
7 「OK」をクリックします。

レンダリングが完了するとレンダリング一覧にパース画像が表示されます。



8 レイヤを「カメラ」または「ユニット」にします。

レンダリング一覧はユニットレイヤとカメラレイヤで表示されます。

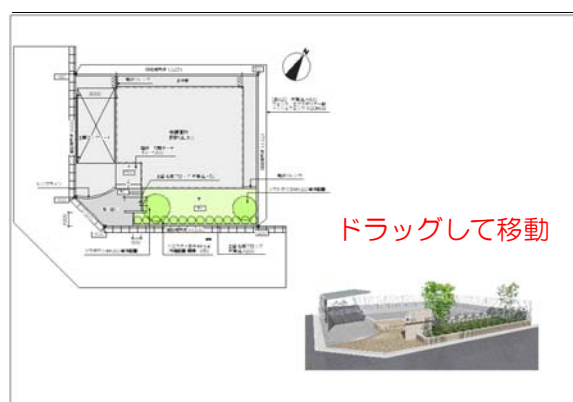


9 画面右側のレンダリング一覧から画像をドラッグします。



10 画像レイヤにして、パース画像をレイアウトしましょう。

パースは「画像」レイヤに配置されます。適当な位置に移動しましょう。





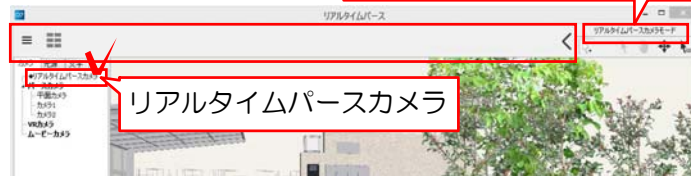
【カメラの種類について】

リアルタイムパース内のカメラの種類は4種類あります。画面左上より選択し使い分けます。

「リアルタイムパースカメラ」

目地位置やテクスチャを調整する際、見たい所を見る為の【作業用カメラ】です。

リアルタイムパースカメラモード

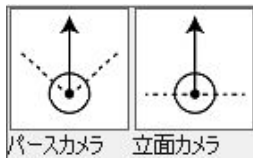


「パースカメラ」

作成したパース画像を、図面にレイアウトする為の【パース用カメラ】です。

レンダリング（平面図上に貼る為に画像を撮る事）するパース数だけカメラを増やして使います。そうすることで、図面修正の際、カメラを切り替えるだけで同じ視点のパースを何度もレンダリングする事が出来ます。

選択しているカメラの種類によって画面上部の色が変わります。



カメラ1

パースカメラモード



カメラ1

「VRカメラ」

VRを作成するカメラです。



カメラ3

VRカメラモード



カメラ3

「ムービーカメラ」

ムービーを作成するカメラです。



カメラ4

ムービーカメラモード



カメラ4